

会議名	平成 28 年度第 6 回桜ヶ丘病院地域協議会
開催日時	平成 29 年 3 月 12 日 13 : 00~14 : 30
開催場所	ユーティリティールーム
出席者	桜ヶ丘病院：望月 篤（静岡市清水医師会副会長） 畑 芳明（桜が丘町町内組長） 杉山 智彦（静岡市保健衛生医療部保健医療課） 島田 孝夫（桜ヶ丘病院長） 岩崎 厚子（桜ヶ丘病院総看護師長） 橋本事務長（桜ヶ丘病院事務長） 高塚 聖文（桜ヶ丘病院事務長補佐（総務））
関係資料	
<p>【内容】</p> <p>島田院長より開会宣言 望月副会長より代表挨拶のあと、メンバー紹介を行った。</p> <p>病院より、直近の患者数報告と月次報告が行われた</p> <p>◇昨年より地域包括ケア病棟を新設し稼働した。病気を診て治すだけでなく、自立支援を経て社会復帰、さらにはこの地域で生まれ看取られるまでの間に当院が深く関わられるような願いがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民としては近くにこのようなしくみをもった病院があることに安心を感じる。移転の話もあるが、引き続き地域に根付いた病院になってほしい。 ・病診連携については先生方にたいへんお世話になっている。来る超高齢化社会に対して会員の平均年齢も高くなっており、地元開業医だけではカバーできない面もある。その中で病院に寄せられる期待は大きいと思う。 ・県の医療計画を見ても、高齢者の推移から、これからは地域包括のニーズが高くなると思われる。静岡市清水区の救急医療も一方で担っているので社会的役割が非常に深い <p>◇夜間救急では若い先生が対応されているが研修生なのか？また地元の人が安心して生活できるように、地域の向けての先生の座談会や、緊急時に地元の人が相談できるホ</p>	

ットラインみたいな仕組みはできないか？

- ・夜間救急で診療を対応しているのは関係大学から来ている非常勤医師ですが皆後期研修を修了し、救急にも精通した医師ばかりです。本来は常勤医師を確保して地域医療を充実していきたいですが、休診中の診療科を含め医師の確保は大変苦慮しています。
- ・特定の地域、人物だけに診療を優先する。または医療相談を提供することは今後も予定しておりませんが、当院は1ヶ月の3分の2を救急当番病院として受け持っていますので夜間に病状が悪化するなど緊急時は遠慮なくお問い合わせください。
- ・開業医からの時間外の紹介について患者が開業医から病院に受診し検査を受け診察までの一連の流れをもっとシームレスにできないか。

◇移転についてはなにか進展があるのか？

- ・テレビ等の報道にもあったように静岡市はJCHOに複数の中から現在の清水区役所の場所を移転候補地として挙げましたが具体的なスケジュールに関しては未定です。
- ・津波による病院機能の停止が心配。災害時には地元の拠点病院として第一線で医療を提供できるような病院を建ててほしい。
- ・災害時は、各救護施設からはもちろん、開業医からも患者が流れ込むことになる。病院周辺が浸水によりアクセスがストップしてしまう可能性も考えられる。患者や医師、スタッフの流れを断たない仕組みが必要。

以上